

復活節第6主日

主日家庭礼拝順序

頌 栄 28

交読詩編 詩編64:1~11

讚美歌 402

聖書 ヨハネによる福音書16:25~33

説教 「キリストの勝利」

祈り

使徒信条 93-4A

讚美歌 404

主の祈り 93-5A

■家庭礼拝の守り方

時間になりましたら、静かに心を整えて黙祷し、礼拝順序に合わせて礼拝を守りましょう。同じ時に、主にある兄弟姉妹と共に礼拝している事を思いながら礼拝を捧げましょう。

頌栄 最初に神様に栄光を帰します。

交読詩編 神からの呼びかけと人の応答を思い読んでください。

讚美歌 神を讚美します。

聖書 神の御言葉を読みます。

説教 御言葉の解き明かし。神様は私に何を語りかけて下さるのかを思いながら読み、しばらく黙想しましょう。

祈り 御言葉を心に留め、主に祈ります。

使徒信条 信仰を告白します。

讚美歌 御言葉への応答・感謝の讚美です。

主の祈り イエス・キリストの教えて下さった祈りで終わります。

◆説教「キリストの勝利」

主イエスは弟子たちと過越祭の前に最後の食事をされました。この時主イエスには天の父なる神様のもとへ移る時が来ていたのでした。そのため、この世に残される愛する弟子たちの不安を取り除くために最後の説教をされました。今日の聖書の箇所は、その最後の部分にあたります。25節「わたしはこれらのことを、たとえを用いて話してきた。もはやたとえによらず、はっきり父について知らせる時が来る」と主イエスは言われました。「これらのこと」とは、主イエスが目前に迫った受難と死について話してこられた全ての事です。そして父なる神に対して主イエス・キリストの名によって祈り求める時、父なる神は与えてくださり、あなたがたは喜びで満たされると言います。主イエスが去られた後、恵みによって私たちが直接父なる神に祈ることになるのです。それは私たちの罪の贖いのために十字架の犠牲を払われた御子を信じる者を父なる神が愛しておられるからだと言うのです。

そして、「わたしは父のもとから出て、世に来たが、今、世を去って、父のもとに行く。」と、イエスご自身がどこから来て、そしてどこに行こうとしておられるのかを、はっきりと話されました。弟子たちはその意味が分かった、信じます、と言いますが、この時弟子たちは復活の信仰を持って聖霊に満たされるという体験はまだでしたので、本当には分かっていませんでした。さらに主イエスは、「だが、あなたがたが散らされて自分の家に帰ってしまい、わたしをひとりきりにする時が来る。いや、既に来ている。しかし、わ

たしはひとりではない。父が、共にいてくださるからだ。」と、これから起こる受難の中でも父なる神が共におられるという確信に支えられて、ついに平安のうちにご自分の霊を父に委ねる事が出来るのだと言われました。「これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。」時が来て、これから起こる受難と死を前にして、その全てが父なる神のご計画の成就であり、その結果、主イエスが罪と死とに勝利されるのです。これは、主イエスは既に世に勝っているという勝利の宣言です。その勝利によって、弟子たちは平和を得る事が出来るのです。

主イエスは今も生きて、世に勝利した主として私たちと共に歩んでくださいます。このキリストと共にある生活の内にまことの平安があります。今苦難の中にいる私たちも主に信頼して主の前に静まり祈りましょう。聖霊が私たちを導いてくださいます。勝利の主は必ず、私たちの苦難、悲しみを喜びに変え、平安と喜びに満ちあふれるようにしてくださいます。

◆祈り

十字架の死と復活によって世に勝利された主イエス・キリストの父なる神に感謝の祈りを捧げる。新型コロナウイルスが一日も早く終息するように。この脅威の中で神の憐れみを求めて、引き続きキリエ・エレイソン(主よ、憐れみ給え)と祈りましょう。

■教会4月19日~5月31日まで

□教会学校 新型コロナウイルス感染防止のため休校

■ランバス幼稚園

4月14日(火)~5月31日(日)家庭保育要請期間